

## ⑫ 公開特許公報(A)

昭62-130144

⑤ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 昭和62年(1987)6月12日

B 23 Q 3/08

A-8207-3C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

④ 発明の名称 間欠、回転板のエア吸引装置

② 特 願 昭60-267948

② 出 願 昭60(1985)11月28日

⑫ 発 明 者 中 井 光 男 静岡市緑が丘町7の16

⑪ 出 願 人 中 井 光 男 静岡市緑が丘町7の16

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

間欠、回転板のエア吸引装置

## 2. 特許請求の範囲

空気吸引機(12)と空気パイプ(13)とパッキン(11)にて  
軸固定具(10)と空気穴(2)を有する軸を連結し  
上方に回転板(1)を取付け、回転板(1)上に矢印  
(9)(9')の運動をする止軸(8)(8')と止具(7)(7')と空  
気止穴(6)(6')と空気室(5)(5')と空気穴(3)(4)  
を有するフェーゲル(3)(4)を設置し連結パイプ(2'')に  
て連結し空気を矢印(14)の方向に吸引し矢印(14)  
に示す方向に回転板(1)を回転させA位置のフ  
ーゲル(3)をB位置へB位置のフェーゲル(4)をA位置  
へ移動させて停止せしめ任意の数の分割フェーゲル  
(16)の如く取付けても使用出来る様にした、間欠、  
回転板のエア吸引装置。

## 3. 発明の詳細な説明

この発明は間欠、回転板のエア吸引装置に

係るものである。

この発明を図面にて説明すると図中(1)は回転板

(2)は軸、(2')は空気穴、(2'')は連結パイプ、(4)は空  
気穴(3)(4)は空気穴、(5)(5')は空気室、(6)(6')  
は空気止穴、(7)(7')は止具、(8)(8')は止軸、(9)(9')  
は止軸(8)(8')の運動方向を示す矢印、(10)は固定  
具、(11)はパッキン、(12)は空気吸引機、(13)は空  
気パイプ、(14)は空気の移動方向を示す矢印、(15)  
は回転板(1)の回転方向を示す矢印、(16)は任  
意の数の分割フェーゲル、A、Bはフェーゲル(3)(4)の  
位置を示すのである。

本発明に係る間欠、回転板のエア吸引装  
置は上記の様子に構成されているから回転板(1)  
の下方に空気吸引機(12)と軸(2)とパッキン  
(11)にて空気を防止した軸固定具(10)と空  
気パイプ(13)にて連結し回転板(1)の上方に矢印  
(9)(9')に示す方向に上下運動する止具(7)(7')を  
有する止軸(8)(8')をフェーゲル(3)(4)内の空気止穴

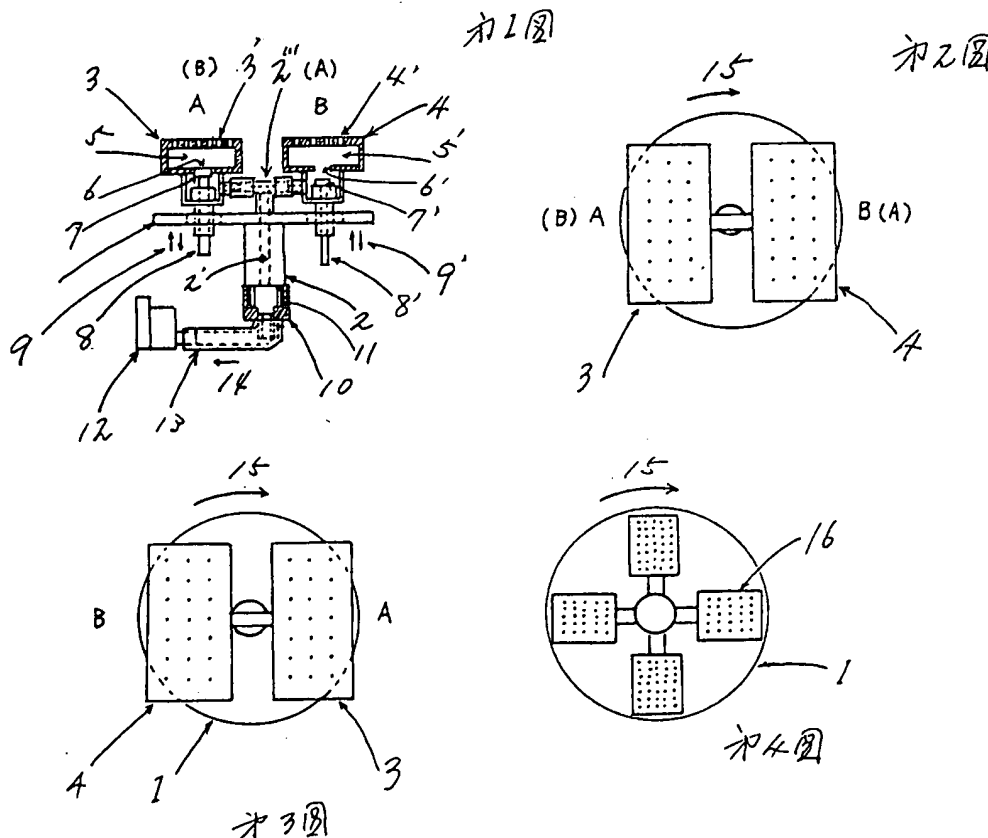
(6)(6)に合う様に設置し、テール(3)(4)は空気穴(3)(4)を設け連通パイプ(2'')に2テール(3)(4)と空気穴(2)とを連結し空気吸引機(12)の運動により空気を空気穴(3)(4)より吸引し空気室(5)(5)内に入水 A位置に2テール(3)が停止している時は止具(7)(7)で空気止穴(6)をふさぎ空気の流通を止め一方向のA位置にあるテール(4)内にある止具(7)を軸(8)により下方に移動させて空気止穴(6)を開き空気を連結パイプ(2'')と空気穴(2)と空気パイプ(3)により矢印(14)に示す本様に空気吸引機(12)へ吸引される本様に且回転板(1)を車軸(2)と共に矢印(15)の方向に回転させA位置にあるテール(3)をB位置へ移動停止させ(B)位置のテール(4)をA位置へ移動させ止具(7)の運動により空気止穴(6)を空気止穴(6)と同じ様に空気止穴(6)と止具(7)を結合させて空気の流通を止める様にしたのである。

空気は常に空気吸引機(12)により一方向に吸引されていくのでテール(3)(4)の内停止しているテールは吸引を止めて移動中は常に両テール(3)(4)とも吸引があるものである間第4図に示す様に任意の数の分割テール(16)を取り付けることと本発明の従来の同様の又は回転中に空気の吸引が本発明の如く止具(7)(7)の作用により吸引と停止の切替が出来る当カビ物の吸着と取りはがしが簡単に出来る且構造が簡単な為安価に製作出来る且構造が簡単な為安価に製作出来る等の実用的効果を發揮せしめる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は回転板(1)に各部品を取付た側面図、第2図はテール(3)(4)の位置を示す平面図、第3図はテール(3)(4)の移動位置を示す平面図、第4図は分割テールを取付た平面図である。

特許出願人 中井 光男



BEST AVAILABLE COPY